

ペタンクだより

No.57

公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟・会員情報誌2021.1.12第57号発行 編集・発行人 碓井 進 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

令和3年(2021年)度に向けての取り組みについて

【令和2年(2020年)度第3回理事会が11月7日(土)に開催されました】

開催場所はJapan Sport Olympic Squareですが、Zoom会議(テレビ会議)形式で開催されました。

碓井会長からは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について、関係各位がご苦労されている事について謝意があり、以下、今後も連盟の運営へのご協力をお願いがありました。

<都道府県連盟等の皆様に>

- 地域の状況を勘案し、大会や講習会等の開催可否を判断してください。
- 感染拡大防止への対応は、当連盟のホームページに掲載していますので確認してください。

<会員の皆様に>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止について、充分留意されるようお願いいたします。
- 大会や講習会等の事業の中止・延期が続いていますが、事情のご理解をお願いいたします。
- 日本連盟や各都道府県連盟も、安全に配慮しできる限りの取り組みを進めていきます。
- ペタンクの練習は、健康維持にもつながります、ぜひとも安全に配慮し続けてください。

今回の理事会では、「会員数の維持、確保」への取り組みの重要性について議論され、以下のような取り組みを決めました。

都道府県連盟、及び、会員の皆様におかれましては、ご理解と、ご協力をお願いいたします。

【理事会内容の概略】

1 賛助会員数の維持、確保への取り組みについて

- 2019年度は、例年の通り400名前後の入退会となりましたが、各都道府県連盟のご協力もあり、全国の会員数は微増(4,789名⇒4,806名)となりました。
- 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による事業中止等の影響もあり、12月末現在、例年より少ない228名の方の入会に留まっており、一方退会された方は500名近くおられ、会員数は約250名減の、4,550名前後となる見通しとなりました。

スポーツくじ



このペタンクだよりは「スポーツ振興くじ助成金」を受けて発行されています。

○「2020年度の会計上の特記事項」は、以下の通りです。

- ①新型コロナ対応で事業継続の為に設けられた、国の支援金等を受領することができました。具体的には、持続化給付金（200万円）や、家賃補助、更には、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる取り組みへの補助金等で、300万円程度が収入に計上できる見込みです。
- ②会員数の減少による会費の減、主催大会・強化合宿・海外派遣・特任講習会等の開催中止による参加料の減、また、事業がないことから国からの補助金等もなく、収入は大きく減ります。一方、大会や強化・普及事業の中止による事業費の減、創立記念50周年式典の中止、更には諸々の固定費の削減等で、支出は収入の減以上に削減できる見込みです。①②を合わせ、全体での収入と支出の差は、600万円程度のプラスの決算見込みです。

○2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応が続くと、会員数は更に厳しい状況が続くことが想定されます。

「2020年度の会計上の特記事項」で記載した決算見込みもあり、2021年度は、以下で記載の通り、年会費、入会金等の取り扱いを梃（てこ）に、会員数の維持、確保の取り組みを、各都道府県連盟等と連携し行うこととなりました。

2 賛助会員の年会費及び入会金の年度を限定した変更について

①2020年度に新規会員となられた方の、入会金1,000円を返金いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止から大会事業や講習会事業等が中止となる中、2020年度に新たに新規会員となっていた方々（現段階で228名）の入会金1,000円については、返金いたします。ぜひとも2021年度以降も会員として継続をお願いいたします。③で記載の通り年会費が減額され1,000円となりますので、返金と合わせますと、2021年度は年会費の負担がなく会員の継続ができます。（指導員・審判員資格認定料、及び、都道府県連盟等の会費は別途となります）

②2021年度、年度限定で入会金を0円といたします。

都道府県連盟等におかれては、新規会員確保の取り組みの継続をお願いいたします。また、会員の皆様も、ご友人等へ入会を拡くお声がけいただくようお願いいたします。

③2021年度、年度限定で全会員の年会費を1,000円減額いたします。

・個人年会費2,000円⇒1,000円とします。

現在会員となっていていただいている皆様は、会員の継続をぜひともお願いいたします。大会や講習会等の事業の中止が続いていますが、新型コロナウイルスの収束に合わせて、日本連盟や都道府県連盟等では、事業の再開を順次再開できるよう取り組んでいきます。よろしくようお願いいたします。

・なお、『※小中高生及び学生並びに障がい者の方』は、会費1,000円⇒0円となります。※の方は2021年度入会金や会費の負担がなく体験入会もできます。（都道府県連盟等の会費は別途となります）

3 2020年度の公認大会のポイントについて

2020年度のほとんどの主催大会及び公認大会は中止となっており、地域による新型コロナウイルス感染拡大防止への対応も異なり、2020年度のポイント付与は行わないことを確認しました。

☆新型コロナが収束し、多くの皆様と共にペタンクの交流ができる事を祈念しています。

ペタンク競技規則について

公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟
審判部会長 今泉利明

競技規則の中には数字に関する条文が沢山あります。競技中に混乱してトラブルにならないように、頭のトレーニングをしてみてください。審判員有資格者の皆さん、引き続き各都道府県において競技規則スキルアップ講習会の実施を宜しくお願い致します。

次の文中の（ ）に入る適切な数字を記入して下さい。（※解答は14頁）

- 問1 ボールに変造、変形、変容を施してはならない。ボールに関する抗議は、メーヌとメーヌの間でなければならない。第（ a ）メーヌ以降、相手チームのボールに関する抗議に根拠のないことが明らかになった場合、相手チームに（ b ）点が与えられる。
- 問2 日本選手権大会で使用するコート の最小寸法は（ c ）mでなければならない。但し、その他の大会については最小寸法の変更を認めることができるが（ d ）m以下にならないことを条件とする
- 問3 競技用公認ボールの規格は、直径（ e ）mmで重量は（ f ）g、（ g ）歳以下の競技会では直径（ h ）mm、重量（ i ）gを使用することができる。ボールを使用していると、すり減って刻印の重量を下回ることがあるが（ j ）g以内であれば認められる。
- 問4 公認ビュットは着色が認められており、直径（ k ）mm、許容±（ l ）mm、重さは（ m ）g以上（ n ）g以下でなければならない。
- 問5 投球サークルは、障害物から（ o ）m以上離れ、他で使用中のサークルまたはビュットから（ p ）m以上離れたところに描くか置かななければならない。
- 問6 選手が投球する際、相手の選手は（ q ）m以上離れていなければならない。
- 問7 審判員が計測中、選手は（ r ）m以上離れていなければならない。
- 問8 メーヌ途中でビュットが無効となるのは、サークルから（ s ）m（年少者の大会は、（ t ）m）を超えるか（ u ）m未満に移動した場合である。
- 問9 ダブルスの試合に使用するボールの場合、第2条に違反していない限り、一選手の持ちボールの（ v ）個が同一規格でなくてもよい。
- 問10 試合開始の合図後、（ w ）分経過後（時間制限を設けた試合では（ x ）分コートにいないチームは罰則が科され、相手チームに（ y ）点が与えられ、（ z ）分経過ごとに罰則として（ A ）点が加えられる。例えば、試合開始の合図後、Aチームが19分、Bチームが32分遅れてコートに現れた場合は、Aチームが（ B ）点：Bチームが（ C ）点で試合を開始する。この試合が時間制限の場合、Aチームが（ D ）点：Bチームが（ E ）点で試合を開始することになる。
- 問11 ビュットを投げる選手はビュットを投げる前に、自分のボール一つで地面を（ F ）回までたたいて着地点の状態を調べることができる。
- 問12 選手が審判員の許可を得てトイレに行くため競技テランを離れた場合、投球時までに戻らなかった選手には、（ G ）分毎にボール（ H ）個が無効とされる。
- 問13 競技中に医師が病気などと認めた場合、最大（ I ）分間の中断時間が認められる。ただし、不正利用したことが明らかになった場合は、その選手及びチームは直ちに大会失格となる。この競技規則は第（ J ）条に明記されている。

- 問14 無効ボールの解釈で、ビュットを投げたサークル以外のサークルから同じ選手が3球続けて投げ、その投球後に違反が判明した場合、(K) 球が無効となる。
- 問15 試合中にビュット又はボールを交換することは出来ません。但しビュット又はボールが紛失した場合、(L) 分以上探しても見つからない場合は交換することが出来る。
- 問16 プル方式の予選では、連続して(M) したチームは(N) 試合目は行わない。
- 問17 ペタンク用語でティール・ドゥヴァンとは、目標の手前(O) cmにボールを落として当てる投球方法である。
- 問18 ペタンク用語でファニーとは負けチームの得点は(P) 点のことである。
- 問19 競技規則の条文は全部で(Q) 条から構成されている。
- 問20 競技規則を遵守しない選手は、第(R) 条の罰則が適用され、罰は(S) 段階に分かれている。
- 問21 審判員が下した判定は絶対であり、従わない選手またはチームを大会から失格させる権限を有するが、これは競技規則第(T) 条の審判員の義務に明記されている。
- 問22 世界ティール選手権大会についての問題
 標的サークルの直径は(U) mである。標的ボールは、直径(V) mm、重さは(W) gで線條の無い明るいものとし、障害球は同じ規格のものとするが色の濃いものを使用する。各選手のティールの投球時間は(X) 秒が与えられる。
 ティールが成功した場合の得点は、例えば、標的ボールがサークルから半分以上出てライン上に止まり、投げたボールがサークルの外に出た場合は(Y) 点である。標的ボールがサークルの外に出て、投げたボールがサークルから半分以上出てサークルのライン上に止まった場合は、(Z) 点である。標的がビュットの場合、ビュットと投げたボールがサークルの外に出た場合は(aa) 点である。試合は1シリーズ(bb) 球投げ、ティールが全て成功した場合の最高得点は(cc) 点である。選手は最初の呼び出しにおいて(dd) 分以内にティールレーンに来ない場合は(ee) 点減点で試合を始めることになる。2度目の呼び出しでも来ない場合はその選手は失格となる。
- 問23 リーグ戦方式のブロック内順位決定方法についての問題(順位を付けなさい。)

No. 1 (1 ブロック 4 チームの場合)

チーム名	①	②	③	④	勝敗		順位
① いちご		4-11	11-2	11-6			
② バナナ	11-4		9-11	11-2			
③ メロン	2-11	11-9		11-4			
④ みかん	6-11	2-11	4-11				

No. 2 (1 ブロック 6 チームの場合)

チーム名	①	②	③	④	⑤	⑥	勝敗		順位
① トロ		7-11	5-11	11-5	11-4	7-11			
② アワビ	11-7		11-6	11-8	11-5	5-11			
③ イクラ	11-5	6-11		11-5	6-11	8-11			
④ ウニ	5-11	8-11	5-11		11-5	11-3			
⑤ ホタテ	4-11	5-11	11-6	5-11		11-9			
⑥ ヒラメ	11-7	11-5	11-8	3-11	9-11				

個人技術評価を用いた練習方法について

国際大会の日本代表選考会や強化指定選手の選考会で採用している、個人技術評価をご紹介します。

個人技術評価とは、ペタンの投球に必要な「ポワンテ」と「ティール」の技術力を数値化して評価していくというものです。

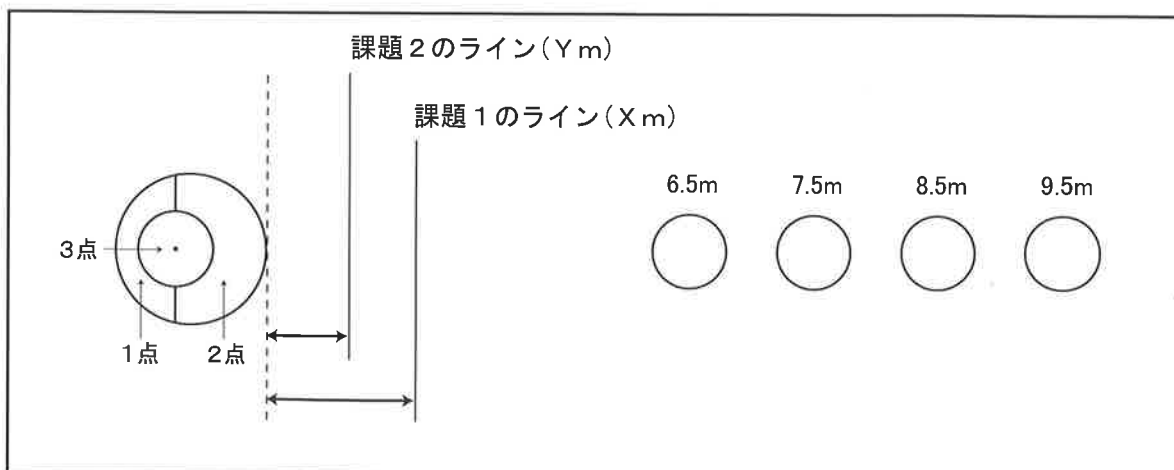
ポワンテとティール、それぞれに2つの課題が設けられ、6.5m～9.5mの4つの距離で投球し、1投球毎に点数を付け、各40投球の合計点を競う内容となっています。

ペタンの技術(レベル)を数値化することにより、自分のレベルや上達度がわかるようになり、他の選手との比較や自分の得意不得意を知ることができ、今後の練習の課題や目標を設定するのに役立てることができます。

通常の試合では、勝敗を競うことが中心になってしまうため、技術力を高めるトレーニングにはなかなか結びつきません。是非、ゲームをするだけでなく、ポワンテ戦、ティール戦といったメニューを普段の練習会に取り入れて、レベルアップを図ってください。

ポワンテ個人評価内容

- 1 サークルから6.5m先にあるビュットに対し投球を行う。
ただし、ボールの着地点は「ポワンテ有効ライン」を越えて着地しなければならない。
- 2 同様に7.5m、8.5m、9.5mの距離に対しても行う。これを5回行う。
(4投球×5回=20投球)
- 3 ポワンテ有効ライン課題1・2で行う。(20投球×2=40投球「1セット」)
- 4 得点は次のとおりとする。
 - ①得点サークルの手前～2点
 - ②得点サークルの中央～3点
 - ③得点サークルの後方～1点※複数の得点に跨がるライン上のボールは得点の高い点数とする。

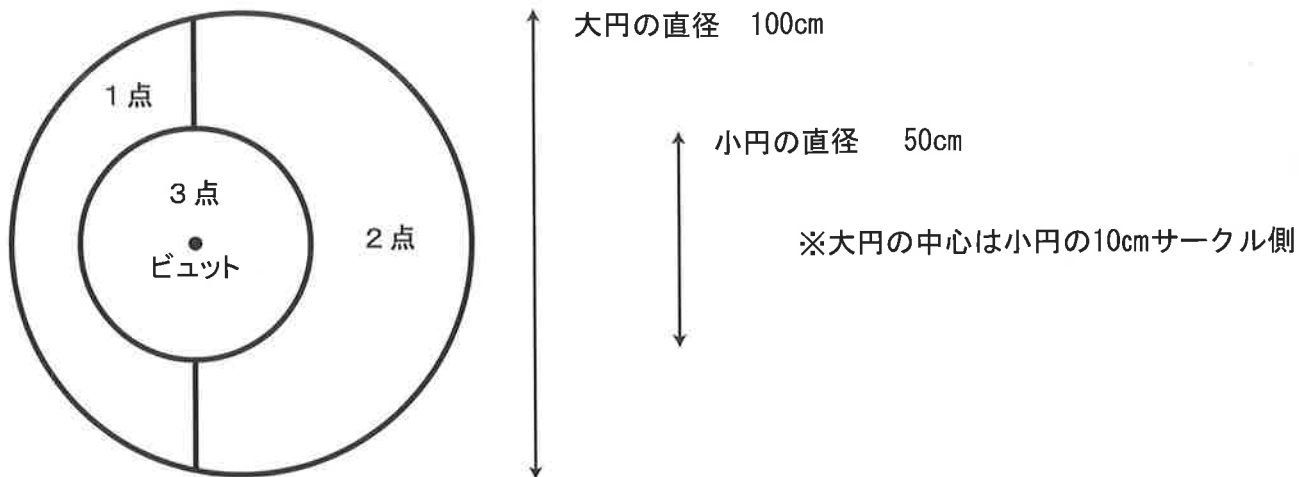


※ポワンテ有効ラインについては、レベルに応じ設定してください。

※強化指定選手の場合は、Xは1.5m、Yは1mで実施しております。

※ポワンテ有効ラインを設定しないで実施することも可です。

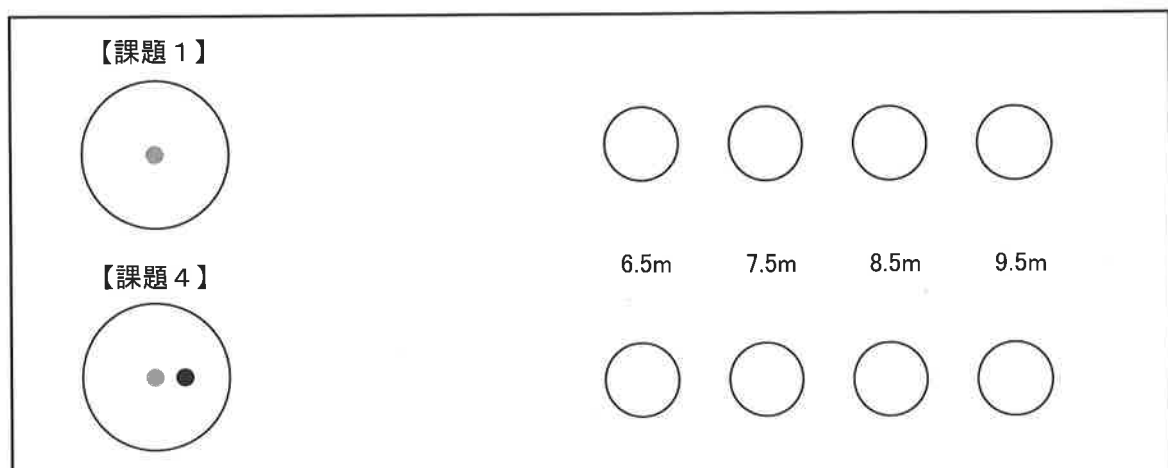
★ポワンテ得点サークル



ティール個人評価内容

- 1 直径1mの円内の中心に対象球を置き、対象球から6.5m先のサークルから投球を行う。
- 2 同様に7.5m、8.5m、9.5mの距離に対しても行う。これを5回行う。
(4投球×5回=20投球)
- 3 国際基準の課題1と課題4で行う。(20投球×2=40投球「1セット」)
- 4 直径1mの円内に着地し対象球に当たった場合、次の点数が与えられる。
 - ①円から完全に外に出すことができた場合～3点
 - ②対象球に当たったが円から出なかった場合～1点
 - ③カロー(対象球が円外、投球ボールが円内)～5点

※ライン上に着地した場合は、0点とする。
 ※対象球に当たる前に障害球に当たった場合は全て0点とする。
 ※対象球に当たった後、障害球に当たった場合は1点とする。



※課題4の対象球と障害球の間隔は10cm

※ ● 対象球 ● 障害球

個人技術評価で点数を競ったり、継続的に実施して上達度を確認したりする場合は、なるべく同じ条件となるように設定することが理想です。地面の状況によっては、難易度が大きく変わってしまうため、投球順を変えたり、1セット毎にレーンを移動する等の配慮が必要です。

一方、技術を高めるためには、様々な地面で実施することをお勧めします。例えば、堅く平坦な地面、柔らかく荒れている地面、砂利の地面、傾斜の地面等・・・条件が変わっても最高のパフォーマンスが発揮できる技術力を身につけましょう。

まとまった人数で実施する場合は、2～4名を1班とし、班の数だけレーンを設置します。班内で、投球者、記録、ボール拾い等、役割を決めます。公平となるよう、全員が1セット終了したら、隣のレーンに移動し、投球順を交代します。

より多くのセット数を実施することにより、正確な評価を得ることができますので、定期的の実施することをお勧めします。

参考として、2020年度の強化指定選手が実施した結果のデータを、下記に掲載しますので、ご参考としてください。

なお、個人技術評価は、実施する地面の難易度により、得点が大きく変わりますので、ひとつの目安としてください。

【参考～2020年度強化指定選手の平均値】

区分	ポワンテ			ティール		
	課題① 1.5m	課題② 1m	合計	課題①	課題②	合計
男子(11名)	26.4	21.9	24.2	34.5	16.8	25.7
女子(12名)	23.5	17.1	20.3	25.9	16.3	21.1
ジュニア(9名)	22.3	19.6	21.0	25.8	10.6	18.2
全体平均	24.2	19.5	21.8	28.8	14.8	21.8

※ポワンテの有効ラインは課題①が1.5m、課題②が1mで実施しております。

※データは、4セット（ポワンテ160球、ティール160球、合計320球）実施した結果の、1セット当たり（ポワンテ40球、ティール40球）の平均値です。